

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和5年8月25日	担当部署	文化観光部 観光振興課
-------	-----------	------	-------------

※以下は令和5年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	一般財団法人ゑしんの里観光公社		
代表者	理事長 宮下 利雄		
	<input type="checkbox"/> 常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市板倉区米増27番地4		
設立年月日	平成元年4月27日		
基本金	20,000千円	市出捐割合	85.0%
設立目的	光ヶ原高原を中心として地域に潜在している観光資源を掘り起こし、それを有効に活用しながら地域の魅力を広く普及する観光事業に努め、潤いと活力ある地域づくりに寄与する。		
主な事業	(1) 信越トレイルの情報発信 (2) 板倉そば打ち体験交流施設いたくら亭の経営 (3) ゑしんの里記念館の管理運営業務 (4) 観光情報の発信及び宣伝活動（観光パンフレット及びチラシの作成、報道機関への情報提供） (5) 各種観光イベントの開催及び参加 (6) 上越観光コンベンション協会等と連携して行う観光客の誘致活動		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	1	5	6	6	0	0
監事	0	2	2	2	0	0
計	1	7	8	8	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	2	2	0
その他	7	7	0
計	9	9	0

5 事業実績（概要）

【令和4年度の経営状況】

- ・ 令和4年度の経常収益は、前年度との比較で2,727千円の減（6.9%の減）の36,938千円となりました。このうち、事業収益では、今年度から開始した信越トレイルクラブビジターセンターの運営、地域おこし協力隊員との連携によるフリーマーケットの実施といった新規事業及び板倉特産品販売、光ヶ原高原キャットツアー写真展、上越科学館と連携した子供向けサイエンスショー等の継続事業のほか各種市民団体への利用PRより、昨年度との比較で、入館者数は781人（10.7%の増）増加、レストラン・宴会・ショップ売上の合計は465千円（28.7%の増）増加し、18,365千円となりました。
- ・ 経常費用は、前年度と比較して、901千円の減（2.2%の減）の39,498千円となりました。
- ・ この結果、当期一般正味財産増減額は△2,682千円となり、令和4年度末の正味財産期末残高は39,609千円となりました。

【令和4年度の事業概要】

(1) ぬしんの里記念館

- ・ 記念館としての役割を維持しつつ、施設環境をいかした収益性のある運営を行いました。
- ・ 市内の様々な団体に利用を呼び掛けたほか、毎月第4土曜日に、「どうがたの郷特産物生産組合」や「いなかの味まんま」、「寺野いろりばた」の3団体による特産物の販売を行いました。9月には、地域おこし協力隊が実施したフリーマーケットを同時開催し、記念館の機能をいかしながら相乗効果が期待できる取組を行いました。
- ・ とりわけ1月下旬から3月中旬に開催した雛人形展は、期間中1,603人の来館者がありました。

(2) そば処いたくら亭

- ・ 中山間地域の生産者と協力し、板倉そばの知名度向上に向けた取組を促進しました。

(3) 光ヶ原高原

- ・ 光ヶ原高原観光総合施設は令和4年度より条例廃止となり、光ヶ原高原キャンプ場のみ光ヶ原高原ファン倶楽部により運営されました。公社としては光ヶ原高原ファン倶楽部事務局としてキャンプ場を運営しました。

【各施設の利用実績】

（単位：人）

施設名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ぬしんの里記念館	4,334	7,282	8,063
うち自主事業	1,225	2,947	4,839
そば処いたくら亭	11,711	12,453	12,443
グリーンパル光原荘	593	283	—

- ・ ぬしんの里記念館の入館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、行動制限が緩和されたことなどから、前年度と比較して、781人の増（10.7%の増）の8,063人となりました。
- ・ そば処いたくら亭の利用者数は、前年度と比較して10人減の12,443人となりました。
- ・ 光ヶ原高原グリーンパル光原荘は、令和4年度より閉鎖となりました。

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
		自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日	自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日	自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	経常収益	35,315	39,665	36,938
	基本財産運用益	91	0	0
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	0	0	0
	事業収益	15,266	17,770	18,365
	受取補助金等	19,938	21,894	18,572
	その他経常収益	20	0	0
	経常費用	36,648	40,399	39,498
	事業費	33,405	36,719	35,834
	管理費	3,243	3,680	3,664
	当期経常増減額	△1,333	△734	△2,560
	経常外収益	0	0	0
	経常外費用	86	69	51
	当期経常外増減額	△86	△69	△51
	税引前当期一般正味財産増減額	△1,419	△803	△2,612
	法人税等	84	70	70
	当期一般正味財産増減額	△1,503	△873	△2,682
	一般正味財産期首残高	44,666	43,163	42,290
	一般正味財産期末残高	43,163	42,290	39,609
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高	43,163	42,290	39,609	
項 目		令和3年3月31日現在	令和4年3月31日現在	令和5年3月31日現在
貸借対照表	資 産	50,937	48,493	43,891
	負 債	7,774	6,202	4,282
	正味財産	43,163	42,290	39,609
	指定正味財産	0	0	0
	一般正味財産	43,163	42,290	39,609

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額 (税込)

(単位：千円)

内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① ゑしんの里記念館 指定管理委託料	13,110	15,324	16,044	
② グリーンパル光原荘等 管理業務委託	3,457	3,278	0	
計	16,567	18,602	16,044	

(2) 財政援助額 (税込)

(単位：千円)

内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① 補助金 (助成金)	743	858	1,318	
観光事業補助金	400	400	400	
地域活動支援事業	0	358	518	
事業者応援給付金	200	0	0	
事業継続支援緊急助成金	143	0	0	
事業者経営支援金	0	100	0	
物価高騰支援金	0	0	300	
第5次事業者支援金	0	0	100	
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
⑤ その他 (補填金)	1,284	0	696	
エネルギー高騰損害補填金	0	0	696	
指定管理減収補填金	1,284	0	0	
計	2,027	858	2,014	

8 市以外からの補助金・助成金等

(1) 受給額 (税込)

(単位：千円)

内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① 持続化給付金	2,000	400	20	中小企業庁
② 雇用調整助成金	441	0	0	新潟労働局
③ 三密対策支援金	186	0	0	新潟県
④ 感染症対策認定店舗 設備導入支援	0	344	0	新潟県
計	2,627	744	20	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

情報発信を幅広く行い、近隣地域とも連携を図った企画を実施するとともに、各施設においては、集客を目指し、次の主な取組を強化します。

○ ゑしんの里記念館

- ・ 令和4年度から信越トレイルビジターセンター機能が加わったことにより、光ヶ原高原キャンプ場の運営など、アウトドア観光の拠点として、情報発信に取り組みます。
- ・ 板倉区の貴重な歴史財産を後世に伝えるとともに、特に中山間地域の地域振興に寄与する事業にも積極的に関与していきます。
- ・ 記念館の持つ景観の良い庭園を活用したイベントを、従来実施してきたイベントと同時開催することで相乗効果が得られるような取組を行います。

○ そば処いたくら亭

- ・ 味、質、素材のこだわりによる他店との差別化を図るとともに、季節に応じたメニューを考案し提供するなど、地域特性をいかした経営を推進します。
- ・ 板倉で生産される蕎麦の普及のための商品開発や、蕎麦打ち職人育成講座を開催し、手打ち蕎麦技術の継承を図ることで、蕎麦による地域振興を目指します。
- ・ 新たに地元産の蕎麦を使った乾麺の商品開発を行い、令和5年度より店頭販売を行います。

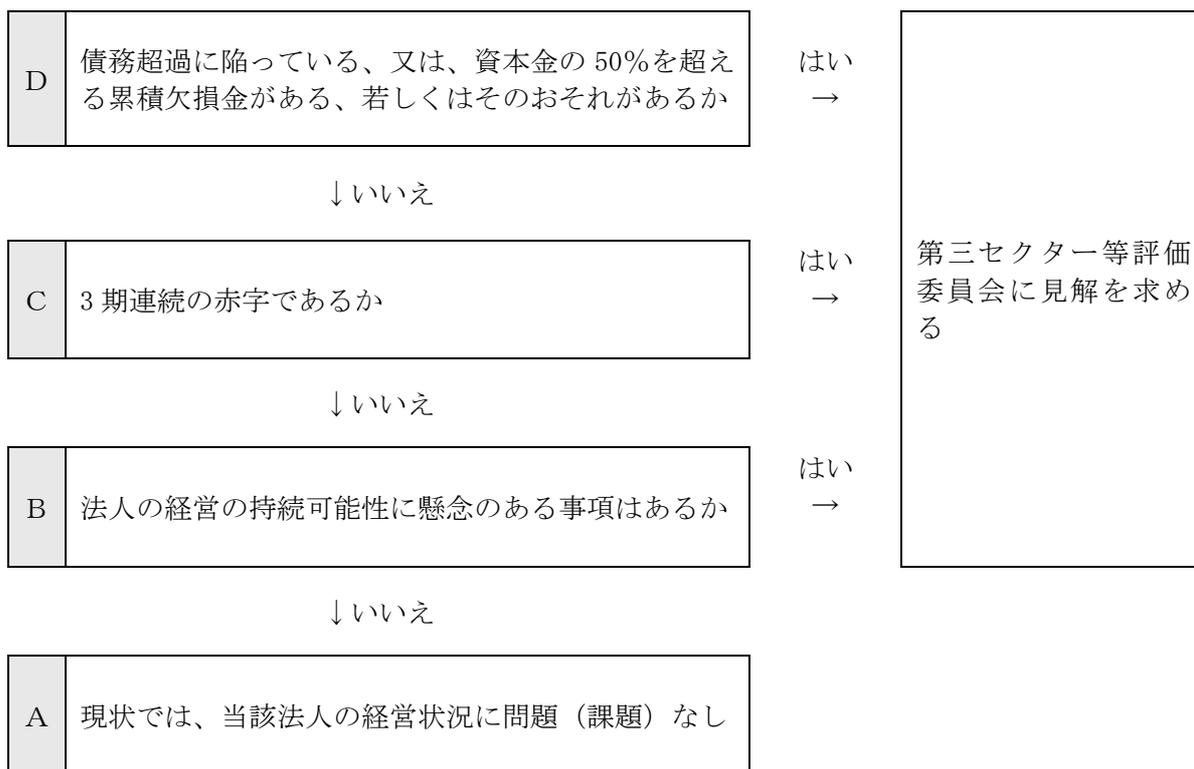
(2) 中長期経営計画

なし

10 令和5年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	C	→ BからD評価の法人は(2)へ
<p>【特記事項】 4期連続で正味財産が減少しているため、C評価となった。</p>		

- ・ 非営利法人においては、累積欠損金という概念がないため、初期の正味財産に対する減少分を累積欠損金と読み替える。
- ・ 「3期連続の赤字」の判断においては、「当期一般正味財産増減高」と「当期指定正味財産増減高」の合計がマイナスとなる場合は、赤字と読み替える。

(2) 令和5年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価

第三セクター等評価委員会の評価
<input checked="" type="checkbox"/> 課題あり <input type="checkbox"/> 課題なし
第三セクター等評価委員会の分析
【上記評価の理由】 <ul style="list-style-type: none">・10割蕎麦乾麺の販売量増加を急ぎたいのは理解できるが、商品コンセプトが確立されていない印象を受ける。・ゑしんの里記念館、いたくら亭それぞれのターゲットがなかなか絞り込まれておらず、ターゲットに対するアプローチをかけていく必要性を感じる。・市所管課において、財務状況を期中においてどのように確認し、期中における方向性の調整などが図れる状況となっているのか、疑問を感じる。
【その他指摘事項等】 <ul style="list-style-type: none">① コンセプト（ターゲットとそのニーズの明確化、ターゲットにとってのベネフィット検証、特徴・メリット等）を整理してから、販売促進手法を考えてみるのはどうか。② 財務状況について、予算実績管理を法人で行い、期中の状況を市所管課で確認できる仕組みづくりをしたらどうか。③ 株式会社ブリッジにいがた（株式会社第四北越フィナンシャルグループの地域商社）の活用を検討してみてもどうか。④ いたくら亭において、収益を増加させるための環境を整えることに注力をしたらどうか。また、文化価値のある建物で、地元の安心・安全な食材をいかした体験ができるなど、固有の強みをいかした運営とふるさと納税を活用した販路拡大に注力をしたらどうか。⑤ 広告宣伝費が有効に機能しているかを検証し、いつ・誰に・何をPRするのかを整理した上で、戦略を持った投資となるよう意識してみてもどうか。

(3) 分析・評価結果を受けての対応方針

第三セクターによる対応方針
<ul style="list-style-type: none">① 10割蕎麦乾麺のターゲットなどを整理し、販売促進の方向性を検討する。② 財務状況の管理や状況確認ができる仕組みづくりを関係機関とともに検討する。③ 活用について、前向きに検討する。④ 地元生産者や行政の関係機関と相談しながら、販路拡大に努める。⑤ より有効な広告宣伝となるよう、これまでの検証を行い、今後の戦略を立てていく。
市担当部署による対応方針
<ul style="list-style-type: none">① コンセプトを明確化し販売促進の方向性の検討を公社と協議する。② 財務管理の明確化や状況確認についての仕組みづくりを、公社と協議する。③ 活用について、前向きな検討を公社に求めていく。④ 地元生産者と相談しながら販路拡大に努める取組を公社と連携して行う。⑤ 有効な宣伝広告について、これまでの検証を行い、今後の戦略について公社と協議する。

1 1 令和4年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価に対する対応状況

令和4年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価【概要】
<p>① 事業計画や販路拡大に向けた発信について、行政側と運営側で情報共有と経営戦略の統一を図り、事業の安定化を進めてはどうか。</p> <p>② いたくら亭の集客力アップ、収益増加に注力したらどうか。いたくらそばのブランド化やマーケティング戦略のアウトソーシングも行き、推進したらどうか。</p> <p>③ 新規顧客の獲得を目標に、新たなPR場所やターゲットについて検討した上で、施設の魅力を発信したらどうか。</p>
第三セクターによる対応状況
<p>① 随時、情報共有に努めた。</p> <p>② 寒ざらし蕎麦の乾麺を開発し、いたくら亭と記念館で試験的に販売を開始している。今後は、商品の表裏に商品名等を記載したラベルを貼って販売する予定である。また、上越妙高駅等、新たな販売場所も開拓する予定である。</p> <p>③ 地域独自予算の提案を行い、一部、予算を獲得することができた。</p>
市担当部署による対応状況
<p>① 公社と毎月担当者会議を実施し、情報共有を図り、地域独自予算の申請について検討した。</p> <p>③ 事業実施に必要な体制（財源等含む）を整えるなど同公社と連携した結果、地域独自予算として、信越トレイル関連事業費及び、いたくら亭の活性化に資する事業費を獲得した。</p>

令和4年度 一般財団法人 ゑしんの里観光公社事業報告
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 事業評価

(1) ゑしんの里記念館管理運営

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響は収束せず、依然として団体利用は減少傾向であった。

一方、今年度から開始した信越トレイルクラブビジターセンターの運営、地域起こし協力隊員との連携によるフリーマーケットの実施といった新規事業及び板倉特産品販売、光ヶ原高原キャットツアー写真展、上越科学館と連携した子供向けサイエンスショー等の継続事業のほか各種市民団体への利用PRによって、昨年度同期間と比べ、入館者数で10.7%・781人、レストラン・宴会・ショップ売上の合計で28.7%・46万5千円それぞれ増加した。

とりわけ昨年度に引き続き令和5年1月22日(日)から3月12日(日)まで開催した雛人形展には、期間中1,603人の来館者があり、また今年度の月別入館者数では二月が970人と年間で二番目に多い入館者数を記録した。

令和5年度においてもこのような入館者増につながるイベント等の実施を通じて、市民にとってより身近な施設となるよう、またアウトドア観光の情報発信拠点としての機能強化を図ることで入館者の増加を図っていきたい。

*** 新規事業、継続事業及び関係団体との連携事業並びに施設利用PRによる主なイベント**

- ①板倉特産品販売(毎月第四土曜日開催)
- ②サイエンスショー(上越科学館との連携・6/26, 10/30, 12/18, R5. 2/23)
- ③光ヶ原高原キャットツアー写真展(8/13～8/28)
- ④地域起こし協力隊員との連携によるフリーマーケットの実施(10/22)
- ⑤映画『突入せよ! あさま山荘事件』関連写真展(8/3～10/20・光ヶ原高原ファン倶楽部との連携)
- ⑥茶会(7/3)、写真展会場(8/4～8/7)、研修会場(新潟県更生保護女性連盟)板倉小学校作品展(10/28～11/4)等の利用

(2) そば打ち体験交流施設 いたくら亭

やはり新型コロナウイルス感染症の影響と7月から9月にかけての天候不順の影響で令和4年度の入込数は12,443人と昨年度間と比較して0.08%・10人減少したが、売上は1.73%・25万9千円増加した。

令和4年10月31日にはいたくら亭の2階及び土蔵が国の有形文化財に登録されたことからいたくら亭紹介パンフレットを新規に作成して集客力の向上を図るとも

に、季節に応じた他店にはないメニューの提供などによってリピーターの増加を図りたい。

*** 主なイベント**

- ・寒ざらし蕎麦(R4/7/23, 24 及び R5/3/10~12)

(3) 光ヶ原高原キャンプ場管理運営

光ヶ原高原総合観光施設については、令和3年度末をもって閉鎖されたが、キャンプ場のみ光ヶ原高原ファン倶楽部によって運営が継続され、光ヶ原高原ファン倶楽部の一員である当観光公社が運営実務を担った。

今年度のキャンプ場の運営は、令和4年6月25日から10月23日までで期間中214人の利用があったものの、夏休み期間中は天候不順の影響で昨年6月から9月末までの利用者数の約4割の158人に留まった。

来年度の運営については光ヶ原高原ファン倶楽部が継続して行う予定で、今年度同様当観光公社が実務を担うことになると思われるが、信越トレイルとの連携強化等利用者の増加を図る施策をファン倶楽部共々検討していかなければならないと考える。

(4) その他

- ・地元小学校、公民館事業への協力

今年度も市立板倉小学校の総合学習等の課外学習において光ヶ原高原が利用され、当観光公社職員を派遣して、子どもたちと光ヶ原を一緒に歩きながら自然環境の大切さ、自然と人間の生活との関わりを子どもたちにわかりやすく説明したほか、教室でのまとめ学習にも出席するなど、地元小学校の学習協力要請に鋭意応えてきた。

さらに、今年度の板倉地区公民館事業『ふるさとの魅力発見講座』にも職員を派遣し、三回にわたって公民館事業の目的である地域の子どもの郷土愛向上に寄与した。

(5) 令和4年度の財務状況

- * 詳細別紙 資料1**

(6) 各施設入込状況

- * 詳細別紙 資料2**

以上

糸しんの里観光公社 収支状況書(令和4年度)

(期間: 各年度4月1日～3月31日)

単位: 円

	項目	当初年度計画	年度実績	比較	説明
	指定管理委託料等	16,044,000	16,044,000	0	指定管理料・市事業補助金
	補助金、助成金	400,000	2,033,691	1,633,691	コロナ関連補助金、助成金、地活動支援補助金
	委託事業収入	0	157,000	157,000	光ヶ原高原総合観光施設等
	いたくら亭売上	15,500,000	15,268,294	-231,706	
	蕎麦打ち体験	100,000	56,400	-43,600	
	記念館レストラン収入	1,650,000	1,310,541	-339,459	レストラン・宴会
	記念館ショップ収入	700,000	775,683	75,683	
	記念館使用料収入	240,000	219,110	-20,890	ホール・和室
	事業収入	122,000	164,735	42,735	光原荘レストラン、マンゴー販売手数料他
	その他収入	301,000	571,017	270,017	雑収入、預金利息他
	売上高計	35,057,000	36,937,779	1,880,779	
売上原価	期首棚卸高	3,200,000	3,365,921	165,921	
	商品仕入れ高	4,970,000	4,284,218	-685,782	
	期末棚卸高	3,200,000	3,149,675	-50,325	
	売上原価	4,970,000	4,500,464	-469,536	
	売上総利益(粗利)	30,087,000	32,437,315	2,350,315	
人件費	正規職員	6,720,000	6,806,700	86,700	
	賞与	1,440,000	1,588,000	148,000	
	臨時職員	11,430,000	11,303,730	-126,270	
	法定福利費	1,379,000	1,434,141	55,141	
	福利厚生費	515,000	549,538	34,538	
	人件費計	21,484,000	21,682,109	198,109	
	旅費交通費	0	0	0	
	通信運搬費	362,000	404,892	42,892	電話、インターネット、郵送料
	広告宣伝費	356,000	720,204	364,204	掲載料、チラシ、パンフ作成折込
	消耗品費	523,000	726,486	203,486	厨房、事務用品
	賃借料	649,000	655,920	6,920	リース料
	保険料	340,000	298,400	-41,600	保険掛金
	自動車費	363,000	313,572	-49,428	車検、定期点検、燃料、修繕
	修繕費	200,000	483,450	283,450	施設小修繕
	委託費	2,914,000	2,800,241	-113,759	施設管理委託、会計等
	イベント費	0	411,223	411,223	
	租税公課	1,465,000	1,433,750	-31,250	消費税
	電気代	2,510,000	3,357,247	847,247	
	上下水道	620,000	612,951	-7,049	
	ガス代	730,000	628,881	-101,119	
	冬季燃料	90,000	59,203	-30,797	暖房用灯油
	減価償却費	0	0	0	
	雑費	255,000	409,080	154,080	
	その他軽費計	11,377,000	13,315,500	1,938,500	
	販売・一般管理費計	32,861,000	34,997,609	2,136,609	
	営業利益	-2,774,000	-2,560,294	213,706	
	営業外費用(支払利息)	120,000	51,405	-68,595	
	税引前純利益	-2,894,000	-2,611,699	282,301	
	法人税・住民税・事業税	70,000	70,000	0	
	当期純利益	-2,964,000	-2,681,699	282,301	

R4年度 各施設月別入込等の状況

あしんの里記念館

単位:人、円、件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入館者数		458	691	646	685	592	565	861	1,114	343	325	970	813	8,063
	小学生以下	11	159	16	20	36	44	169	307	31	3	90	45	931
	中学生以上	447	532	630	648	556	521	692	570	312	322	867	738	6,835
	17:00以降	0			17				237			13	30	297
ホール														0
	件数	2	0	4	3	1	0	0	1	3	1	1	2	18
	人数	57	0	161	221	57	0	0	76	83	70	20	61	806
	利用金額(a)	¥8,610	¥0	¥23,370	¥33,210	¥30,750	¥0	¥0	¥1,230	¥13,530	¥3,690	¥3,690	¥6,150	¥124,230
(減免分)														0
	件数													0
	人数													0
	減免の額													¥0
和室														0
	件数	5	5	11	10	6	9	12	6	6	4	6	7	87
	人数	31	43	88	269	31	59	130	78	63	24	47	55	918
	利用金額(b)	¥3,060	¥3,960	¥17,280	¥8,100	¥5,400	¥7,200	¥10,640	¥6,120	¥7,200	¥1,980	¥3,960	¥5,940	¥80,840
(減免分)														2
	件数				1				1					2
	人数				16				20					36
	減免の額				¥1,640				¥1,080					¥2,720
	施設利用料計(a+b)	¥11,670	¥3,960	¥40,650	¥41,310	¥36,150	¥7,200	¥10,640	¥7,350	¥20,730	¥5,670	¥7,650	¥12,090	¥205,070
	計	458	691	646	685	592	565	861	1,114	343	325	970	813	8,063

いたくら亭

単位:人、件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	来店者数	1,013	1,507	1,046	1,118	1,189	1,030	1,261	1,327	790	458	655	1,049	12,443
	そば打ち体験件数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3
	そば打ち体験人数	0	0	0	0	0	5	0	0	21	0	0	3	29

令和4年度財務諸表

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

新潟県上越市板倉区米増27番地4

一般財団法人 糸しんの里観光公社

理事長 宮下 利雄

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

一般財団法人 糸しんの里観光公社

単位：円

借 方				貸 方			
資 産 の 部	当 年 度	前 年 度	増 減 額	負 債 の 部	当 年 度	前 年 度	増 減 額
1. 流動資産				1. 流動負債			
現金及び預金	4,875,377	7,461,997	△ 2,586,620	買掛金	323,465	428,704	△ 105,239
売掛金	16,384	56,356	△ 39,972	未払金	255,017	288,884	△ 33,867
未収入金	647,133	2,477,621	△ 1,830,488	預り金	36,842	37,002	△ 160
商 材 品	2,191,870	2,261,734	△ 69,864	未払法人税等	70,000	70,000	0
原 材 料	957,805	1,104,187	△ 146,382	未払消費税等	616,800	907,800	△ 291,000
前払費用	71,280	0	71,280				
未収還付法人税等	81	0	81				
流動資産合計	8,759,930	13,361,895	△ 4,601,965	流動負債合計	1,302,124	1,732,390	△ 430,266
2. 固定資産				2. 固定負債			
有形固定資産				長期未払金	2,980,000	4,470,000	△ 1,490,000
建 物	2	2	0				
什 器 備 品	150,008	150,008	0	固定負債合計	2,980,000	4,470,000	△ 1,490,000
建設仮勘定	14,920,000	14,920,000	0	負債合計	4,282,124	6,202,390	△ 1,920,266
基本財産							
基本財産	20,000,000	20,000,000	0	正味財産の部	当 年 度	前 年 度	増 減 額
その他の資産				正味財産	39,608,611	42,290,310	△ 2,681,699
電話加入権	60,795	60,795	0	(当期一般正味財産増加額)	(△ 2,681,699)	(△ 872,780)	(△ 1,808,919)
固定資産合計	35,130,805	35,130,805	0	負債・正味財産合計	43,890,735	48,492,700	△ 4,601,965
資産合計	43,890,735	48,492,700	△ 4,601,965				

脚注：有形固定資産減価償却累計額

2,552,656円

正味財産増減計算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

一般財団法人 彥しんの里観光公社

単位：円

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産運用益収入	400	400	0
② 積立預金収入			
預金利息収入	160	162	△ 2
③ 受取寄付金			
記念館来館時寄付収入	0	0	0
④ 受取補助金等			
記念館指定管理委託収入	16,044,000	15,324,000	720,000
観光公社補助金等収入	918,000	758,000	160,000
光ヶ原高原管理委託等収入	494,308	3,683,759	△ 3,189,451
コロナ感染症関連補助金及び助成金収入	1,115,691	2,128,127	△ 1,012,436
⑤ 事業収益			
いたくら亭収益	15,324,694	15,064,793	259,901
記念館収益	2,313,334	1,877,746	435,588
光ヶ原高原収益	0	306,695	△ 306,695
イベント等事業収益	156,735	160,985	△ 4,250
その他収益(雑収益)	570,457	360,190	210,267
経常収益計	36,937,779	39,664,857	△ 2,727,078
(2) 経常費用			
① 管理費			
職員給与	1,361,300	1,350,900	10,400
賞与	317,600	266,000	51,600
法定福利費	286,800	260,000	26,800
福利厚生費	303,500	247,750	55,750
租税公課	1,394,400	1,555,300	△ 160,900
② 事業費			
仕入原価	4,500,464	4,432,606	67,858
職員給与	5,445,400	5,404,070	41,330
賞与	1,270,400	1,064,000	206,400
臨時職員給与	11,303,730	13,392,969	△ 2,089,239
法定福利費	1,147,341	1,040,024	107,317
福利厚生費	246,038	285,365	△ 39,327
通信運搬費	404,892	432,791	△ 27,899
消耗品費	726,486	1,355,746	△ 629,260
広告宣伝費	720,204	569,919	150,285
租税公課	39,350	62,750	△ 23,400
保険料	298,400	163,140	135,260
委託費	2,800,241	2,524,490	275,751
イベント費	411,223	391,504	19,719
賃借料	655,920	641,024	14,896
自動車費	313,572	552,735	△ 239,163
修繕費	483,450	157,806	325,644
水道光熱費	4,658,282	3,997,289	660,993
雑費	409,080	250,837	158,243
経常費用計	39,498,073	40,399,015	△ 900,942
当期経常増減額	△ 2,560,294	△ 734,158	△ 1,826,136
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
支払利息	51,405	68,540	△ 17,135
経常外損益計	△ 51,405	△ 68,540	17,135
当期経常外増減額	△ 51,405	△ 68,540	17,135
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,611,699	△ 802,698	△ 1,809,001
法人税・住民税・事業税等	70,000	70,082	△ 82
当期一般正味財産増減額	△ 2,681,699	△ 872,780	△ 1,808,919
一般正味財産期首残高	42,290,310	43,163,090	△ 872,780
一般正味財産期末残高	39,608,611	42,290,310	△ 2,681,699
II 正味財産期末残高	39,608,611	42,290,310	△ 2,681,699

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税の会計処理

消費税の会計処理については、税込経理を採用しております。

(2) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、売掛金、未収金・未払金、前払金・前渡金、立替金・預り金及び有価証券・短期借入金を含めております。

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、平成15年4月1日以後に取得した取得価額30万円未満の資産については、取得時に費用処理しています。

4. 会計方針の変更

指定正味財産の部を一般正味財産の部に統合表示しております。

5. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
合 計	20,000,000	0	0	20,000,000

6. 担保に供している資産

なし

7. その他

平成25年度より、旧財団法人より一般財団法人へ移行認可を受けております。

財 産 目 録

令和 5年 3月31日

一般財団法人 柔しんの里観光公社

単位：円

科	目	金額	備考
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	手許有高	361,315	
普通預金	株式会社ゆうちょ銀行		財団一般会計
	口座番号 11200-11416951	1,000	
	第四北越銀行/板倉支店		財団一般会計
	口座番号 1041662	98,481	
	第四北越銀行/板倉支店		いたくら亭
	口座番号 1094452	212,278	
	第四北越銀行/板倉支店		記念館
	口座番号 1099926	301,224	
	第四北越銀行/板倉支店		その他
	口座番号 1099919	76,711	
	新井信用金庫/板倉支店		
	口座番号 0054341	3,824,026	
	えちご上越農業協同組合/板倉支店		
	口座番号 0057645	342	
		4,514,062	
商品	別紙棚卸表参照	2,191,870	
原材料	別紙棚卸表参照	957,805	
売掛金	別紙科目明細表参照	16,384	
未収入金	別紙科目明細表参照	647,133	
前払費用	別紙科目明細表参照	71,280	
未収還付法人税等		81	
	流動資産 合計		8,759,930
2. 固定資産			
有形固定資産			
建物	別紙明細表参照	2	
什器備品	別紙明細表参照	150,008	
建設仮勘定		14,920,000	
		15,070,010	
その他の固定資産			
基本財産	えちご上越農業協同組合/板倉支店 定期預金	20,000,000	
電話加入権	0255-81-4720	60,795	
	固定資産 合計		35,130,805
	資 産 合 計		43,890,735
II. 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	別紙科目明細表参照	323,465	
未払金	別紙科目明細表参照	255,017	
預り金	別紙科目明細表参照	36,842	
未払法人税等	確定法人県市民税等	70,000	
未払消費税等	確定消費税及び地方消費税額	616,800	
	流動負債 合計		1,302,124
2. 固定負債			
長期未払金	別紙科目明細表参照	2,980,000	
	固定負債 合計		2,980,000
	負 債 合 計		4,282,124
	正 味 財 産		39,608,611

監査報告

一般財団法人 系しんの里観光公社

理事長 宮下利雄 様

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度事業年度における監査を行い、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2、監査の結果

- ① 事業報告及び、その附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、法人の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- ③ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和5年4月30日

一般財団法人 系しんの里観光公社

監事 相葉 雅 彦



監事 小林 正 男



一般財団法人ゑしんの里観光公社 令和5年度事業計画

(1) ゑしんの里記念館管理運営

① 観光拠点・地域振興拠点機能の強化

【目的】

令和4年度から信越トレイルビジターセンター機能が付加され、『新しい生活様式』の一端ともいえる屋外活動志向にも対応してアウトドア観光により一層力点を置いた情報発信拠点としての機能強化を図る。

板倉区の貴重な歴史的財産を後世に伝えるとともに、特に中山間地域の地域振興に寄与する事業にも積極的に関与していく。

【新規事業 - 1】

- ・事業名：筒方地区活性化事業(蕎麦打ち職人育成事業)
- ・内容：令和5年度地域独自の予算・筒方地区活性化事業の一環として、旧筒方小学校及びゑしんの里記念館を会場に蕎麦打ち職人の育成を図るもの。
* どうかた倶楽部及び板倉区総合事務所との連携事業

【継続事業 - 1】

- ・事業名：観光情報コーディネート事業
- ・内容：①近隣自治体(隣接県を含む)の観光情報をアレンジして上越市内の公の宿泊施設等に情報提供及び宿泊プラン作成時の参考となるような資料提供を行う。
②上越市内の観光情報を近隣自治体(隣接県を含む)に発信して“上越市”を取り込んだ観光プランの作成に資する情報提供を定期的に行う。

【継続事業 - 2】

- ・事業名：信越トレイルビジターセンター事業
- ・内容：信越トレイルビジター機能をゑしんの里記念館に開設、運営する。

【継続事業 - 3】

- ・事業名：総合学習支援事業
- ・内容：市内の小学校の総合学習授業に光ヶ原高原の魅力を取り上げてもらい、公社職員を講師として派遣し、光ヶ原高原についての学習を通じて自然環境の大切さを学ぶとともに郷土愛を育んでもらう。

② 公の施設機能の強化

【目的】

誰もが気軽に利活用できる施設であることをアピールするとともに、関係団体と連携した幅広い活用を行うことで、記念館の公の施設としての役割強化を図っていく。

【継続事業 - 1】

- ・事業名：上越市の偉人顕彰(令和2年度～)
- ・内容：上越市が生んだ各界の偉人の功績を写真や関連資料の展示で紹介
令和5年度は、地域独自の予算・板倉区の史跡文化財を広め交流人口の増加を狙う事業の一環として、提案団体である『いたくら文化研究会』から

の委託事業として『増村朴斎展』を実施予定。

【継続事業 - 2】

- ・事業名：板倉区特産品販売(令和2年度～)
- ・内容： とうがたの郷特産物生産組合、いなかの味まんま、寺野いろりばた等の団体による特産品の販売。(開催日：年間毎月第4土曜日午前11時から)

【継続事業 - 3】

- ・事業名：記念館雛人形展
- ・内容： 市民から寄贈いただいた雛人形(段飾り9組他)を令和6年1月末から3月中旬まで展示。

【継続事業 - 4】

- ・事業名：科学であそぼう サイエンスショー
- ・内容： 上越科学館との連携事業。年3から4回開催
小学校3年生以下は保護者同伴。参加費：一人500円(材料費)

(2) そば打ち体験交流施設 いたくら亭

① 安定した経営の継続

味、質、素材のこだわりによる他店との差別化をより一層図るとともに、季節に応じたメニュー提供など、オリジナリティも意識した経営を推進する。

② 食を通じた観光振興及び地域振興への寄与

光ヶ原や筒方産そば粉を使用することで、素材のこだわりとともに板倉区の地域資源である『そば』の消費拡大、食を通じた観光振興及び地域振興にも寄与していく。

【新規事業 - 1】

- ・事業名：光ヶ原産乾蕎麦販売
- ・内容： 光ヶ原産の乾蕎麦を『いたくら亭』ブランドとして販売

【新規事業 - 2】

- ・事業名：中山間地域栽培蕎麦の消費拡大
- ・内容： 板倉区筒方、牧区泉、岩神の各生産組合及びいたくら亭がコラボして、中山間地域産乾蕎麦の消費拡大を図る。

③ 登録有形文化財としての『いたくら亭』の利活用

令和4年10月に国の有形文化財に登録された大正期の住宅建築の特徴を現している『いたくら亭』の2階部分及び蔵について、いたくら亭の入店者数の増加及び交流人口の拡大につなげるよう利活用を図る。

(3) その他観光振興事業

① 光ヶ原高原の活性化(継続事業)

- ・光ヶ原高原ファン倶楽部による地域の独自予算事業と連携して、信越トレイルマジックを開催

② ホテル火街道事業(継続事業)

- ・寺野、筒方、関田等の中山間地域の棚田沿いの農道若しくは畔道にガーデニング用ソーラーライト(LED・自動点灯型)を埋め込み、日没後の棚田風景を演出する。
(設置数：950個)